

文学館だより

令和 2 年 7 月 1 日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 責 日 高

時をおき老樹の零おつるごと静けき酒は朝にこそあれ

大正 4 年 7 月、栃木県の友人を訪ねた時の歌。「友と相酌む歌」と題する歌の中の 1 首。
「朝は朝昼は昼とて相酌みつ離れがたくもなりにけるかな」とも歌い、友としみじみ酒を酌み交わしている。 『砂丘』収録。【大谷和子『短歌の意味がすぐわかる！名歌即訳 若山牧水』参照】

酒のうたを 367 首遺した牧水。最後の歌集『黒松』より

青柳（あみやぎ）に蝙蝠（かはほり）あそぶ絵模様の藍深きかもこの盃に
妻が眼を盗みて飲める酒なれば惶（あわ）て飲み噎（む）せ鼻ゆこぼしつ
酒ほしさまぎらはすとて庭に出でつ庭草をぬくこの庭草を「最後の歌」の 1 首

牧水生誕の地、坪谷牧水顕彰のはじまりを探る

さかのぼること、昭和 26 年「将来にわたりふるさとの歌人若山牧水を顕彰する」ことを目的に、東郷村若山牧水顕彰会が結成され、第 1 回牧水歌碑祭が開催されました。今年には顕彰会結成 70 年目にあたり、牧水祭も第 70 回を迎えます。



生家裏山歌碑

そんな 5 月のある日、
「昭和 22 年、生家裏山歌碑除幕式の写真を出しておいてほしい」とお客様から依頼が入りました。

早速、文学館内で尋ねてみます。

私：「裏山歌碑除幕式の写真はありますか？」

回答：「見たことはありません。」

とのこと。

さあ、ここから私の追跡調査が始まりました。

生家裏山歌碑除幕式

- 昭和 22 年 11 月 17 日
- 碑文 ふるさとの尾鈴の山のかなしさよ秋もかすみのたなびきてをり
- 文字 牧水直筆を拡大したもの
- 刻 村田金吾氏（東郷町小野田）
- 牧水郷土歌碑建設会 建設会長 那須一磋氏（坪谷）

まず、『若山牧水 全国歌碑集』を開きました。
除幕式、祝賀会について触れてありますが、当然写真はありません。
東郷村報をたどりましたが、昭和 22 年当時はまだ発行されておらず、残念ながら写真の所在には至りませんでした。

顕彰会発足より 4 年も前に、生家裏山歌碑ができ、除幕式が行われたことがわかります。

さらに、あれこれ調べていくと、昭和 22 年以前から牧水顕彰の計画が持ち上がっていたことがわかりました。戦前戦中でもあり、実現は叶わなかったようです。

そこで見つけたのが、生家裏山歌碑建設の代表 那須一磋氏の父 那須九市氏の名前です。ここからさらに九市氏追跡調査が始まりました。

今回は、坪谷牧水顕彰のはじまり（？）であろう有志の一人、那須九市氏について、お伝えします。（息子一磋氏は改めて、次号でお伝えします。）

坪谷牧水顕彰のはじまり

■ 大正年代頃より坪谷地域では若者の文学意識が高く、特に、

黒木 伝松 (くろぎでんまつ)

日高 郡司 (ひだかぐんじ)

矢野 団治 (やのだんじ)

中野 元吉 (なかのもときち)

中野 弥一郎 (なかのやいちろう)

那須 一磋 (なすいっさ)

は文学少年六人衆と呼ばれた。

この若者 6 名は、牧水を慕い短歌に親しみ、親の生業の傍ら、短歌、文学に昇進したという。このことは少なからずも牧水の余徳を受け、短歌、文学への意識が芽生えたものと思われる。

後にこの六人衆は「昭和 3 年 9 月 17 日」牧水没後、毎年同志の家に集い、夜の明けるまで牧水を語り偲び惜しみ、牧水の後に続いたといわれている。

【坪谷 故矢野宝蔵氏資料より抜粋】

■ 昭和 10 年頃の坪谷の歌碑建立の話は、坪谷周辺在住の甲斐善平 (かいぜんべい)、矢野団治、那須九市ら牧水と関係の深い人達の間で持ち上がったものか。実現に至らなかった。
【牧水研究 第 10 号より抜粋】

生家裏山歌碑建設を果たした那須一磋氏と那須九市氏が親子であることが判明。父親の果たせなかった夢を息子が成り代わって、生家裏山歌碑建設実現へと向かわせたのだろうか・・・

■ 那須九市氏

明治 6 年 5 月 5 日 東臼杵郡東郷村坪谷村 58 番に生まれる

明治 29 年 7 月 24 日 小学校教員免許状を受く

明治 29 年 7 月 坪谷尋常小学校訓導 (教諭) に拝命

明治 32 年 4 月 細島尋常小学校訓導に拝命

明治 36 年 4 月 越表尋常小学校に赴任

明治 41 年 9 月 坪谷郵便局長に就任

ちなみに、明治 29 年 3 月に坪谷尋常小学校を卒業している。



坪谷尋常小学校
明治二九学校
三一



明治三十年
首席教員
訓導 那須九市



明治三十一年
首席教員
訓導 那須九市

坪谷小学校歴代校長写真が並ぶ先頭に九市氏の写真があった

【日向市立坪谷小学校資料提供】

参考資料 『若山牧水 全国歌碑集』 『東郷町誌』 『東郷町史』
『牧水研究 第 6、10、21 号』 『牧水紀行 2 日高秀子と若山牧水』
「故矢野宝蔵氏資料」

坪谷小学校、細島小学校へは直接赴き、資料収集。地元住民へも聞き取り。

顕彰会発足前の、地元住民による牧水顕彰の熱き思い、九市氏一磋氏親子を知ることができ、楽しい調査でした。

もしかすると、誤りがあるかもしれません。より詳しい情報をお持ちの方がいらっしゃいましたらご提供お願いします。